

スタッフコラム

「大変な仕事でしょう、なぜこの仕事を選ばれたんですか？」お客様から時折、尋ねられることがあります。本当に様々なご縁やきっかけに導かれてこの職に辿り着いたのですが、その根底にあるのは恐らく父方の祖父が亡くなった際の経験です。

祖父は2月の冬の夜、自宅で一人亡くなっていました。家の者が気付いてすぐに病院へ運ばれたものの、心不全での急死でした。自宅で既に亡くなっていた状況から警察の監視が入り、葬儀社に来てもらう頃にはもう遅い時間になっていました。自宅で一晩寝かせてあげることになったのですが、監視が入ったこともあり家は雑然としています。そんな状況にも関わらず、駆け付けてくださった葬儀社の方々は祖父を丁寧に布団に寝かせ、手際よくお線香の用意をしてくれたのです。突然の不安が和らいだ瞬間でした。当時はまさか自分がこの仕事に就くとは思っていませんでしたが、世の中にはこんなにも尊い仕事があるのか、と高校生だった私の心に強い印象を残す出来事でした。

その後紆余曲折を経てこの仕事に就くことになったのですが、仕事を覚えるまでの最初の数年間はやはり葛藤の毎日で、自分には向いていない、辞めようと思うこともありました。しかしその度にお客様からの「ありがとう」に励まされ、まっすぐに人を想い、ひたむきに皆様と向き合う先輩方の姿勢に背を押され、今日まで至っています。

時が過ぎるのは本当に早いもので、昨年の春に新社会人としてデビューした後輩も、近頃ではすっかり頼もしい表情を見せるようになりました。新しい経験の中に立ち足る壁を、一つ一つ乗り越えていく彼女の姿から、私自身も初心にかえり学ばせてもらうことが多々あります。『ああ、私もよく同じ失敗をしたな、あの時言われていたのはこういうことだったのか』、と今になって気付くことも沢山あります。そうして時に厳しく、それでも大きな懐で私を育てて下さった先輩方や、お客様へのご恩を改めて感じる日々です。

時代の流れとともに、葬儀の在り方も大きく変わっている昨今。しかしどんな形になろうとも、人が人を想い、弔う心は変わりません。どうかこの尊いバトンを途絶えさせることなく、次の世代に繋いでいけるよう精一杯やろう、と今日も新たな経験に奮闘する後輩を目に励んでいます。



伊藤沙由貴

はなだより~立春~

二十四節気において、春の始まりとされる日。節分の翌日です。二十四節気とは、中国で紀元前に生まれた太陽の動きに基づいた暦です。

立春→雨水→啓蟄→春分→清明→穀雨 立夏→小満→芒種→夏至→小暑→大暑
立秋→処暑→白露→秋分→寒露→霜降 立冬→小雪→大雪→冬至→小寒→大寒

四季の最初が立春、立夏、立秋、立冬。この四つは四立(しりゅう)と呼ばれています。また、二十四節気の算出の基準となるのが、日時計で観察しやすかった、夏至、冬至、春分、秋分。この四つは四至(しし)と呼びます。ちょうど四至の中間点が四立。四立の前日が節分。節分は本来一年に四回あるのですね。

その中で一年の終わりであり、大晦日ともいえる立春の前の日が、今の豆まきなど節分の行事を行う大事な日として残っています。太陽の動きから算出されている暦なので、実際の寒さ暑さに合っているかと言うとそうでない時もあります。

立春は日本では一年でもっとも寒いころですが、冬至の頃より日が長くなっていることを感じる事が出来る時期ですね。春が確実に近づいているなあ、と毎年思います。立春ころは、様々な種類のお花がお花屋さんにならびます。ピンクや黄色、オレンジなど、春らしい色の花や、枝ものなども芽吹いてきて、春を感じることが出来ます。

フラワースペースデザイン部では、季節を感じるアレンジを提案しています。また、お誕生日や記念日、開店祝いや送別会等様々なシーンに合わせた花束やアレンジメントも承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。
フラワースペースデザイン部 0897-53-8788



役に立つ葬儀の話 Vol.65

「実家の片付け」

いざ遺品整理をしようと、物があふれた状態の実家で必要な物を探すことを考えた場合「生前整理」は負担が軽く、あらかじめ「実家の状態」や「親の変化」を知る事も出来ます。「生前整理」は親が元気なうちに、少しずつ始める事が出来るのが良いところですが「何から始めれば…」と考えてしまいます。

まず片付けで注意する事は「実家は親の家」という事です。他の人には不要な物に見えても、一つ一つに思い出や思い出があります。子供と親の判断基準は違うと認識し、親の意思を確認しながら整理する事から始めましょう。

① 仕分ける

物を仕分ける事から始めましょう。

「衣類」「薬品」「文具」「ゴミ」など分類別に分ける。

② 減らす

不要な物を処分していきます。

③ 収める

何処に何を置か決めて、収納していきます。

実家の片付けは、親にとっては「迷惑」という事もあり消極的になることもあります。片付けに消極的な場合は、生活行動の動線から片付けると良いでしょう。トイレやキッチンへ行きやすく「ぶつかったり」「つまづいたり」しないか、生活行動の動線の安全を確保します(高齢者は家での転倒事故が多い)。また、行動パターンを考え何処に何があれば便利か、使った後に片付けしやすいかも決めていきます。必需品・大切な物や書類など、使った物も何処に戻せば良いのか分かりやすく「ラベリング」する事と、生活行動の動線で低い位置、出し入れしやすい場所をお勧めします。

防災観点では、「地震でタンスや本棚が倒れてこないのか?」「寝室に危険はないのか?」「転倒しそうな物や割れそうな物は置かない」を確認します。一方的に進めていくのではなく、親の話をよく聞き気持ちに寄り添い、協力する姿勢を示しながら、一緒に片付けをすることが上手にいく秘訣です。

① 親が快適に暮らす事が出来る状態にする

② 親が亡くなった後、困らない状態にしておく

…この2つを目標に、ゆっくり出来る事から始めましょう。



小番英之

業績拡大につき

ドリーマー社員大募集!!

お仕事を考えての方!! 私たちと一緒に働きましょう!! 未経験からはじめたスタッフがほとんどです。知識経験がなくてもマンツーマン指導でしっかりと仕事を覚えることが出来る環境です。ご連絡をお待ちしております。

【正社員】 葬祭部 基本給 187,000円~293,000円(その他諸手当あり)
(休日/月7日、有給あり、賞与年2回、社保完備)

【葬祭献茶スタッフ】 時給 1,000円~1,200円(研修期間有り)
セレモニーにおける会館でのお飲み物のお配りや、式場のご案内など接客が主な仕事です。



まずはお電話を!!

募集に関するお問い合わせは
0897-35-1110
担当 戸田

まほろば

2月
令和4年

第95号

53
冊
創刊1962
Dance corporation



株式会社ドリーマー
ご葬儀かわら版

0120
44-5880